

丸子北小学校 学校教育目標 1 違いを認め、お互いを大切にする子 2 自分の考えを持ち進んで学ぶ子 3 最後までやりぬく子

〈保護者の皆様へ〉

小学校での学習は、将来社会人として自立するための基礎となるものです。どのご家庭でも、お子さんに基礎学力がしっかり身に付き、自主的に学んでいくことを期待されていると思います。しかし、中には「自主学習をやりたけれど、何をしたいかわからない。」というお子さんもいるでしょう。別紙『家庭学習の手引き(児童向け)』では、学年に応じた家庭学習の時間、内容、自主学習の例が記載されています。お子さんが学習の際、目に入るところに掲示していただき、家庭学習を進める参考にしてください。

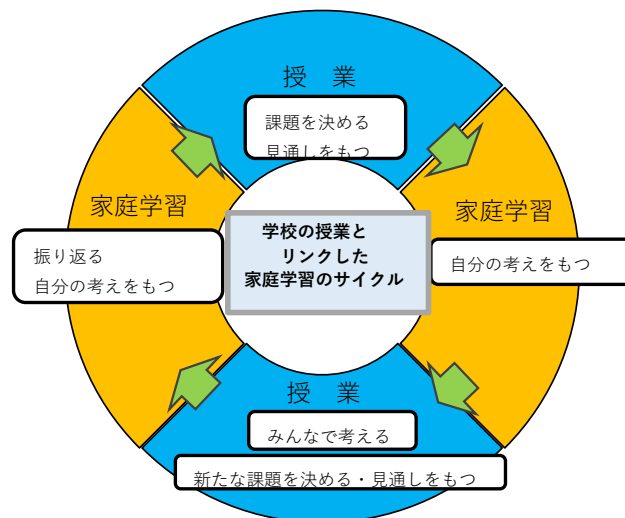
〈家庭学習をすすめるための環境作り〉

- 1 毎日帰ったらすぐに取りかかるなど時間を決めて学習を始めましょう
- 2 学習場所を整頓し、姿勢を良くして学習しましょう
- 3 テレビのスイッチを切って学習しましょう
- 4 毎日継続して取り組みましょう

〈お子さんを伸ばす5つのポイント〉

- ① 基本的な生活習慣の定着を図りましょう
早寝・早起き・朝ご飯等規則正しい生活、テレビやゲームの時間を決める
- ② 保護者も家庭学習に関心を持ちましょう
学校での学習や宿題を知る、配布物に目を通す、見守る、時には一緒に考える
- ③ お子さんの取り組みを促しましょう
励ましの言葉がけ、家庭学習に集中できる環境作りをする
- ④ お子さんとのコミュニケーションを図りましょう
お子さんの話をしっかり聞く、良いところをたくさん誉める
- ⑤ お子さんの将来について一緒に考えましょう
将来の夢や目標の話をする、体験談を話す、手伝いや用事を頼む、一緒に活動する時間や機会を作る

〔授業と家庭学習のサイクル〕



今までの授業と家庭学習のサイクル

授業で課題を決めて・解決していく→家庭学習(宿題)で、授業で学んだことを復習する→学習内容が定着する→授業で新たな課題を決める→…(繰り返し)

これからの授業と家庭学習のサイクル

授業で課題を決める・見直しをもつ→家庭学習で自分の考えをもつ(自分なりに学ぶ)→授業で課題についてみんなで考える(友だちと意見を交換する・考えを伝え合い深める)→振り返る・学習内容が定着する→学校で次の課題を見つける・見直しをもつ→家庭学習で自分なりに考えをもつ→…(繰り返し)

新しいスタイルで家庭学習に取り組むことのよさ

○これから学習することに見直しをもち、自分なりに内容をとらえておくことで、授業に積極的に参加できるようになる。
○授業内容を大まかに理解しておくことで、授業で「できた」「わかった」という経験が増え、より意欲的に次の学習に向かうことができる。
○よりよい学習方法が身につく、時間の有効な使い方につながる。

〈紡ぐ(つむぐ)の活用例〉

家庭学習を計画的にすすめるために、生活・学習ノート「紡ぐ(つむぐ)」を活用しましょう。お子さんが立てた学習の計画を、学年に応じて次のような観点で見守り、励ましましょう。

- 〔1・2年生〕「がくしゅう、テレビ・ゲーム」の時間をお子さんと一緒に記入しながら、全体を認めたり、励ましたりしましょう
- 〔3・4年生〕「ふり返り」欄について、保護者印をつけながら時間や内容を振り返り、認めたり励ましたりしましょう
- 〔5・6年生〕「宿題、自主学習」や「学習・メディア・就寝時間」、「ふり返り」等を、保護者印をつけながら認め、励ましましょう

〔全学年共通〕つむぐで翌日の学習準備や学習内容の確認をし、家庭でのメディアコントロールに活用しましょう